早稲田大学国際教養学部過去問(SILS入試過去問)
2011年度　世界史
＊ SILSに入学を希望する受験生の学習のために公開している資料です。
Distributed by WasedaSILS.com

世　界　史

（問　題）

2011年度

〈H23051121〉

注　意　事　項

1. 問題冊子および記述解答用紙は，試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は２～６ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は，手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にＨＢの黒鉛筆またはＨＢのシャープペンシルで記入すること。
4. 試験開始後，記述解答用紙の所定欄（２か所）に受験番号および氏名を，マーク解答用紙の所定欄（１か所）には氏名のみを記入すること。
   記述解答用紙の所定欄の受験番号は正確にていねいに記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので，注意すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

5. マーク欄ははっきり記入すること。また，訂正する場合は，消しゴムでていねいに，消し残しがないようよく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	●良い	◍悪い	◯悪い
マークを消す時	○良い	◍悪い	◯悪い

6. 試験終了の指示がでたら，すぐに解答を止め，筆記具を置くこと。
7. 試験終了後，問題冊子は持ち帰ること。
8. いかなる場合でも，解答用紙は必ず提出すること。

Ⅰ　以下の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙及び記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

中国では［ a ］年にそれまでの元の支配をくつがえして、明が漢民族による統一を回復し[1]、地主と農民に対し［ b ］をしき、これを通して徴税と治安の維持をおこなった。この制度は、大土地所有制を根本的に変革するものではなかったけれども、地主制をふくみながら村落共同体の再生をはかろうとするものであった。また、洪武帝は元の時代につくられた特権的官僚地主の権限を奪い、国家機構を整備して専制体制を固めた[2]。

これらの改革はそれまでの元朝支配の遺物を一掃するためのものではあったが、中央集権体制の再建という方針[3]は、15世紀の中ごろから大きく変わりはじめていた中国社会の実情にあわないものであった。たとえば、［ b ］は自作農の維持を前提とするものであったが、農村の階層分解を留めることはできず、とくに16世紀中ごろから銀が大量に流入し[4]、農村にも貨幣経済が浸透して商品作物の生産が発展すると、階層分解はいっそう進み、中小自作農は没落し、土地所有の集中が生じた。このころから税や年貢を銀で納める［ c ］が普及したが、それは小作農や零細自作農にとっては重い負担となった。このため、小作料や税の減免を要求する農民一揆がくりかえされるようになる。その一方で、長江下流のデルタ地帯では絹・綿織物などの手工業が発達し[5]、新しい都市も生まれてきたが、明朝の支配体制はこういう新興の商工業者たちをくみいれるものではなく、17世紀には都市手工業者からも暴動が頻発するようになった。

洪武帝やその後の永楽帝などは国内の社会変化に対応する代わりに、対外的に発展する政策をとった。永楽帝はモンゴル、ベトナム、東北へ遠征したが、とくに［ d ］におこなわせた南海遠征はアフリカ東海岸にまで達するという壮大なものであった。しかし、これらの遠征は貿易の拡大のためのものではなく、あくまで明朝への服従と朝貢をもとめるという性格のものであったので、かえって周辺諸民族の反発をまねき、逆にモンゴルや日本人による侵略や密貿易に脅かされるようになった。

こうして明朝は内外の矛盾に苦しみ、1644年李自成の率いる農民軍が首都北京を陥れ、明朝は滅亡した[6]。

出所：浜林正夫『世界史再入門』、講談社学術文庫、一部変更。

問1　空欄［ a ］に適合する年号を一つ選びなさい。

ア　1338　　イ　1348　　ウ　1358　　エ　1368

問2　空欄［ b ］に適合する語句を記しなさい。

問3　空欄［ c ］に適合する語句を記しなさい。

問4　空欄［ d ］に直接関係ないものを一つ選びなさい。

ア　天順帝　　イ　イスラム教徒　　ウ　建文帝　　エ　永楽帝

問5　下線1について、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　明朝は、中国史上唯一、江南を根拠として中国を統一した王朝である。

イ　明朝は「一世一元」の制を採用した。

ウ　建文帝は首都を金陵から北平に移した。

エ　朱元璋は紅巾の乱の中から台頭した。

問6　下線2について、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　政治の最高機関を中書省とした。

イ　実務機関の六部（吏、戸、礼、兵、刑、工）を皇帝直属にした。

ウ　内閣大学士を皇帝の補佐役とした。

エ　最高軍事機関として五軍都督府を置き、それらの軍政長官である都督を皇帝直属とした。

問7　下線3について、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　租税台帳として魚鱗図冊を作成した。

イ　里内の徳望ある年長者を里老人に選び、郷村で民衆の教化にあたらせた。

ウ　軍事面では、衛所制をしいた。

エ　六諭は六か条からなる儒教にもとづく教訓であった。

問8　下線4について、この時期に中国に輸入された銀の名称を二つ記しなさい。

問9　下線5について、この時期の経済状況の記述に関して誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　綿織物や絹織物の生産は農民が重税への支払いのために副業としたことにはじまる。

イ　「江蘇熟せば天下足る」と言われるようになった。

ウ　山西省出身の山西商人や安徽省出身の徽州商人が塩の専売などで巨万の富を築いた。

エ　同郷出身者や同業者との連帯や共同利益を図るための団体組織が発展し、主要な都市には、共同施設として会館・公所が整備された。

問10　下線6について、明朝最後の皇帝は誰か、一つ選びなさい。

ア　隆慶帝　　イ　崇禎帝　　ウ　天啓帝　　エ　萬暦帝

Ⅱ　以下の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙及び記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

ライプチヒの戦い[1]でナポレオンが敗れ、失脚すると、フランス革命以来の混乱を収拾するため、1814年からウィーン会議が開催された。同会議は、フランス革命とナポレオン戦争終結後のヨーロッパの秩序再建と領土分割を目的としていた。会議参加者はフランス革命による国民主権の原則を否定した。会議を主催したのは、オーストリア[2]の外相、[a]であった。

[a]は、フランス革命とナポレオンが作った秩序を破壊し、フランスを革命以前の領土に戻し、封じ込めることを目的としていた。他方で、[a]は、欧州に覇権を築きたいというロシア皇帝[b]の野望、失った領土を可能な限り取り戻したいプロイセン国王の思惑なども、考慮しなければならなかった。しかし、[a]は、大陸の列強との勢力均衡に長けたイギリス[3]という協調相手を見出すことに成功した。同会議では、フランス代表の[c]が提唱した、フランス革命以前の政治体制を正統とみなす正統主義を原則としつつ、欧州列強の勢力均衡によって、革命や戦争の再発を防ごうとした。結果、フランス[4]では、[d]が即位し、[e]王朝が復活した。ウィーン会議で締結された[f]は、ロシア[5]やプロイセンの野望を阻み、欧州各国の勢力均衡の意思を尊重するものであり、新たな国境線を策定した。

こうした大国による新たな国際秩序体制[6]を維持するために、ロシア皇帝[b]は、[g]を結成した。ローマ教皇、オスマントルコの君主、イギリスを除く欧州の全ての君主が加盟した。1815年には、ロシア、オーストリア、イギリス、プロイセンとの間で[h]が結ばれた。

問1　空欄[a]～[h]に適合する語句を、記述解答用紙に記しなさい。

問2　下線1に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　連合軍の総司令官は、ナポレオンの元部下のベルナドットで、後にスウェーデン王となった。

イ　戦闘の結果、フランスのライン川以東での覇権は終焉し、ライン同盟は崩壊した。

ウ　フランス・イギリス軍とロシア、プロイセン、オーストリア連合軍との間で行われた戦いであった。

エ　諸国民戦争とも呼ばれ、ナポレオン戦争における最大規模の戦いであった。

問3　下線2に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　オーストリア継承戦争でシュレジエンを喪失した。

イ　1864年、オーストリアは、プロイセンと連合してデンマークと戦った。

ウ　オーストリアは1866年のプロイセンとの戦争に敗れ、マジャール人とベーメン人の独立を認めた。

エ　ウィーン会議後、オーストリアは、南ネーデルラントをオランダに譲り、ロンバルディア・ヴェネツィアを獲得した。

問4　下線3に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　ウィーン会議後、イギリスは、セイロン島とケープ植民地を獲得した。

イ　ウィーン会議後、イギリスは欧州では、マルタ島とイオニア諸島等を獲得した。

ウ　1824年のイギリス＝オランダ協定でマラッカを獲得した。

エ　自由党のディズレーリは、1875年にスエズ運河株を取得した。

問5　下線4に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　シャルル10世はルイ16世の弟であった。

イ　シャルル10世は、七月勅令で、議会の解散やルイ14世時代の絶対王政復活を目指した。

ウ　ルイ＝フィリップが1848年の革命で倒されると、ギゾーが第二共和政を開始した。

エ　ルイ＝フィリップは、ジャコバン派に所属していた経歴の持ち主で、自由主義に理解があった。

問6　下線5に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　ロマノフ朝は、農奴制を機軸とした皇帝による専制政治体制を特色としていた。

イ　エジプト＝トルコ戦争に介入し、ブルガリアを獲得した。

ウ　ニコライ1世は、トルコへの南下政策を推進した。

エ　ウィーン会議後、ロシア皇帝は、ポーランド王を兼ね、ベッサラビアとフィンランドを獲得した。

問7　下線6の体制に対する自由主義・国民主義運動に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　リェーゴが指導したスペイン立憲革命は、フランス軍によって抑圧された。

イ　自由主義的な貴族士官デカブリストは反乱を起こすが、ニコライ1世によって鎮圧された。

ウ　イタリアの各地で展開した秘密結社カルボナリによる蜂起は、イタリア軍によって抑圧された。

エ　ドイツのブルシェンシャフト運動は、カールスバート決議で抑圧された。

Ⅲ　以下の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙及び記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

第一次世界大戦は、総力戦となり、飛行機や戦車さらに毒ガスなどの新兵器が使用され、約1000万人の戦死者を出した凄惨をきわめた戦争であった。戦渦はヨーロッパ全土に広がり、ロシア[1]・ドイツ・オーストリアの三帝国が崩壊し、オスマン帝国も決定的に弱体化した。他方、民族自決の気運が高まる反面、それに抵抗する動きもはげしくなった。

18世紀初頭のサン＝ピエールの『永久平和案』や同世紀末の［ a ］の『永遠平和のために』は、当時すでに国際的平和機構の構想に言及していた。それが実現したのは、第一次世界大戦後であり、アメリカ大統領ウィルソンの［ b ］にもとづき、ヴェルサイユ条約で国際連盟設立が決定された。1920年に発足した国際連盟[2]は、国際紛争の平和的解決を目標の一つとして掲げたが、国際紛争の解決に関しては期待された成果をあげられなかった。

第二次世界大戦後に創設された国際連合でも、世界の平和と秩序の維持のため、国際紛争解決を大きな目標の一つに掲げている。国連憲章は、国連総会と安全保障理事会（安保理）[3]の権限を明確にし、国際的な安全保障問題に関しては、

安保理に第一義的な責任と権限を与え、国際的紛争解決の手続きを詳細に規定している。憲章の第六章では、紛争の平和的解決手続きを詳細に規定していて、それらは「交渉、審査、仲介、調停、仲裁裁判、司法的解決、地域的機関又は地域的取極の利用」などである。こうした紛争解決手段を活用しても、なお、他国に対して武力行使を行った国に対しては、憲章の第七章で非軍事的措置と軍事的措置を規定している[4]。特に後者に関しては、加盟国が国連に提供する兵力その他の便宜に関して特別協定を事前に結ぶことによって、国連軍による軍事的制裁を執行することが意図されている。

以上のように、第二次世界大戦後に設立された国際連合が掲げた大きな目標の一つは、恐怖からの自由であった。もう一つ大きな目標は、欠乏からの自由であるが、残念ながら、戦後の国際社会はその目標を達成したとはいいがたい。食糧の生産・流通を改善して、人々の栄養水準の向上と農民の生活向上を目的とする国連機関の [c] によれば、開発途上国の多くの人々が依然として食糧不足で苦しんでいるといわれている。戦後の国際通貨の安定、貿易の自由化ならびに経済復興を促して国際経済のグローバル化を押し進めてきたブレトン＝ウッズ体制下で、「通貨の番人」の役割を担った [d] が1970年代初期にその機能を失い、世界は変動為替相場制度に移行した。また、国際自由貿易の拡大に寄与してきた「関税及び貿易に関する一般協定」は、1990年代に [e] へと発展したが、世界各地に二国間あるいは多国間の自由貿易協定が発足している。さらに、冷戦体制崩壊後、[d] と [f] との間で国際融資事業の重複が目立っている。

問1　空欄 [a] から [f] に適合する人名あるいは語句を記しなさい。その際、空欄 [c] から [f] に関しては、日本語名で記しなさい。

問2　下線1に関して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　皇帝ニコライ二世は退位し、ロマノフ朝は消滅した。
イ　三月（ロシア暦では二月）革命後のロシアでは、ソヴィエトと臨時政府との二重権力状態となった。
ウ　レーニンは新経済政策（ネップ）を導入し、銀行・大工業・外国貿易の国家管理を一層強めた。
エ　ソヴィエト政権は、ドイツとブレスト＝リトフスク条約を結んで戦線を離脱した。

問3　下線2に関して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　侵略国家への制裁手段が不十分であった。
イ　連盟総会での全会一致の議決原則により有効な決定ができなかった。
ウ　連盟の構成国がヨーロッパ諸国にかたよった。
エ　アメリカ合衆国が下院の反対で参加しなかった。

問4　下線3に関して、国連発足当初の安保理常任理事国であるアメリカ、イギリス、フランス以外の二国の正式名を記しなさい。

問5　下線4に関して、国連安保理決議が採択されなかった紛争を、下記の中から一つ選びなさい。

ア　湾岸戦争　**イ**　朝鮮戦争　**ウ**　ヴェトナム戦争　**エ**　ユーゴ紛争

Ⅳ　以下の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙及び記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

古代ギリシア思想とならんで、キリスト教は西欧文明の思想的な基盤をなしてきた。325年のニケーア公会議においてアタナシウス派の説が採用され、のちにこの立場はキリスト教の中心的な教義である [a] 説としてまとめられた。カトリックという語は [b] であることを意味する。カトリックの歴史において、修道院[1]は重要な役割を果たした。修道院では、人は世俗社会の外部に存在する修道院において禁欲的な信仰生活を送る。[c] がイタリアのモンテ＝

カシノに開いた修道院は大きな影響をもった。伝統的なキリスト教に対する革新としてのプロテスタント[2]の思想は、西欧社会の近代化と深く関係している。それは万人祭司主義[3]を掲げ、カトリックの権威に反対した。カトリック教会はサン＝ピエトロ大聖堂[4]の建築に際して贖宥状の販売を開始した。これに対してマルティン＝ルター[5]は、九十五カ条の論題を発表して批判を行った。プロテスタントの思想は、宗教を超えて広範な影響を及ぼした。とりわけ、プロテスタントの一部が唱えた［ d ］という思想は、カトリックが否定した私有財産を肯定したために、資本主義の発展を促進する結果となった。

問1　空欄［ a ］に適合するキリスト教の教義上の概念を記しなさい。

問2　空欄［ b ］に適合する語句を一つ選びなさい。

ア　超越的　　**イ**　理性的　　**ウ**　普遍的　　**エ**　救済的

問3　下線1に関して、誤りを含む記述のあるものを一つ選びなさい。

ア　修道院では世俗的な生活が否定され、その一環として労働が否定された。

イ　修道院は東方で始まったが、後に西方に導入された。

ウ　修道院運動は、教会に対する批判的な運動として始まった。

エ　クリュニー修道院は、教会の改革に大きな影響を与えた。

問4　空欄［ c ］に適合する人名を記しなさい。

問5　下線2の「プロテスタント」という呼称の成立と関係が深い人名を一つ選びなさい。

ア　カール５世　　**イ**　レオ10世　　**ウ**　フランソワ１世　　**エ**　マクシミリアン１世

問6　下線3の万人祭司主義と関係が深いものを一つ選びなさい。

ア　首長法　　**イ**　長老制度　　**ウ**　異端審問　　**エ**　司教制

問7　下線4に関して、この聖堂の建設にかかわった芸術家の作品を一つ選びなさい。

ア　神曲　　**イ**　ヴィーナスの誕生　　**ウ**　最後の晩餐　　**エ**　ダビデ

問8　下線5のルターの改革と関係の深い人名を一つ選びなさい。

ア　モンテーニュ　　**イ**　マキァヴェリ　　**ウ**　エラスムス　　**エ**　ラブレー

問9　文中の空欄［ d ］に適合する語句を記しなさい。

問10　以下の文章のうち、誤りを含む記述のあるものを一つ選びなさい。

ア　ドイツの領邦教会制は、ルター主義にもとづく。

イ　1555年にアウクスブルクの帝国議会はルター派を容認した。

ウ　ネーデルラントの南部10州は、スペインの圧力に屈してユトレヒト同盟を脱退した。

エ　反宗教改革は旧教勢力やスペイン宮廷が中心となって行われた。

〔以　下　余　白〕

早稲田大学　　国際教養学部　一般入学試験問題の訂正内容

【世界史】

問題用紙２ページ　Ⅰ　問６

選択肢に正解として扱うことができるものが複数ありましたので、そのいずれを選択した場合も得点を与えることとします。

以上